



学校通信

平成28年度臨時号
平成29年2月23日
練馬区立開進第三小学校
校長 土屋 信行

平成28年度 教育活動アンケートの結果報告

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。
さて、平成28年12月に保護者の皆様にご協力いただきました教育活動に関する保護者アンケートの結果をお知らせいたします。
この結果を参考とし、平成29年度の教育活動をより充実させてまいります。(回収率75%)

Aよい・あてはまる

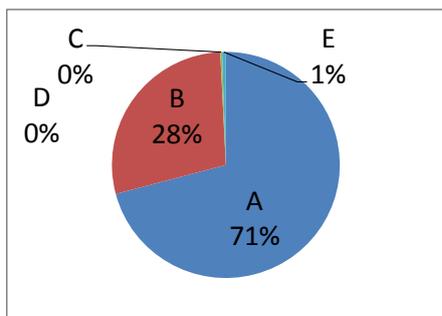
Bだいたいよい・だいたいあてはまる

Cあまりよくない・あまりあてはまらない

Dよくない・あてはまらない

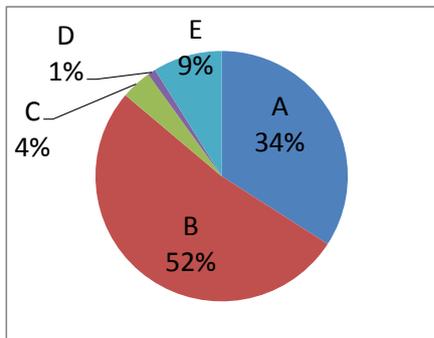
Eわからない

設問1 本校の教育目標 ○思いやりのある子供 ○実行する子供 ○健康な子供は、ご家庭で育てたい子供像に合っている。



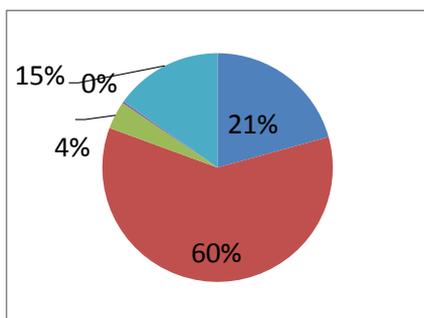
99%の方が「よい・あてはまる」「だいたいよい・だいたいあてはまる」と回答くださいました。今後とも、人権尊重の精神を培い、健全な社会人として、よりよい自分や社会をつくらうとする自己形成力を持ち、生涯を通じて学び続けることのできる心豊かでたくましい児童の育成を目指します。児童の実態を絶えず把握し、児童に寄り添いながら指導を続けてまいります。

設問2 本校は、教師と児童が愛情・信頼関係で結ばれている。



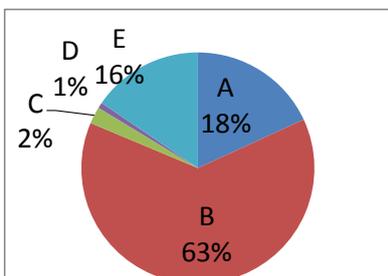
87%の方がよい評価をくださいました。しかし、「よくない・あてはまらない・わからない」と回答した方が、14%いました。このことを受けて、教師は、「待つ・聴く・受け止める」の姿勢を大切に、児童一人一人への思いを深くし、愛情をもって確かな指導を行います。全児童がどの教師とも愛情・信頼の関係で結ばれるよう意識して、指導改善を図ります。そして、教師自らの指導力・授業力の向上を図れるよう努力を重ねます。

設問3 本校の児童は、自ら学び、自ら考え、判断し、問題を解決し、実現していこうとしている。



81%の方がよい評価をくださいましたが、「よくない・あてはまらない・わからない」と回答した方も19%いらっしゃいました。
学校の教育目標「実行する子供」を実現するためにも、基礎的・基本的な知識の習得を図り、その知識・技能を活用する学習活動を行っていきます。問題解決学習を取り入れ、考える楽しさ、分かる喜びを味わわせられるよう努力していきます。

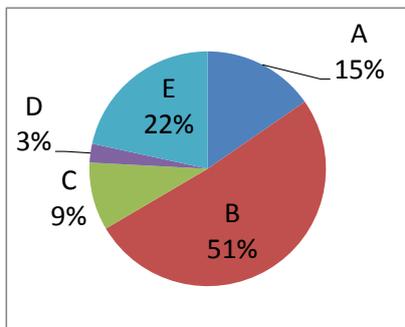
設問4 本校の児童は、感謝する心や思いやりの心を持ち、相手の立場に立って物事を考えている。



昨年度とほぼ変わらない結果でした。人として、「当たり前のことをちゃんとやる」「相手の気持ちを考える」「善悪を判断して行動する」「互いを助け合う」ことを全教育活動を通して指導し続けます。また、家庭や地域と連携しながら、どの児童にも思いやりの心もてるようにしていきたいと考えます。

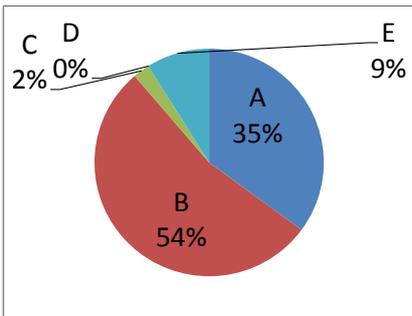


設問5 本校の児童は、いじめを「しない」「させない」「許さない」心情が育まれている。



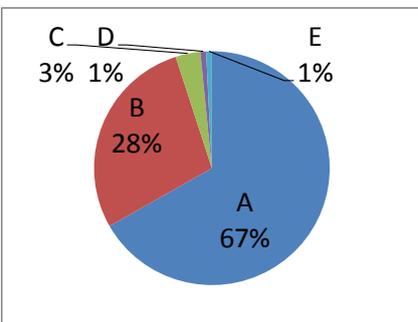
昨年度と比べて、よいという評価が下がりました。児童が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめは絶対に許さないという意識を常にもち、指導にあたります。また、学校いじめ対応基本方針をもとに、被害者の気持ちに寄り添いながら、対応します。全教職員で未然防止・早期発見・早期解決を目指します。

設問6 本校の児童は、望ましい運動習慣や食習慣を身に付け、健康に生活している。



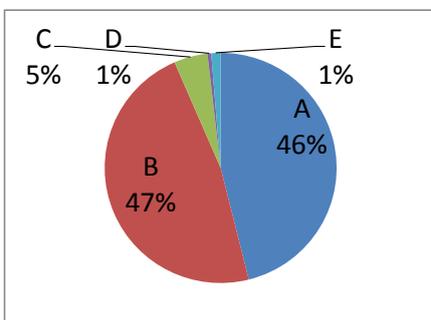
昨年度より5%ですが、よい評価をいただきました。以前から取り組んでいる長縄キャンペーン、元気アッププロジェクト、マラソン旬間等の活動内容を充実させるとともに、体育の授業改善を図りながら、体を動かすことの楽しさを味わわせ、さらなる体力の向上を目指します。

設問7 お子さんは、学校に楽しく通っている。



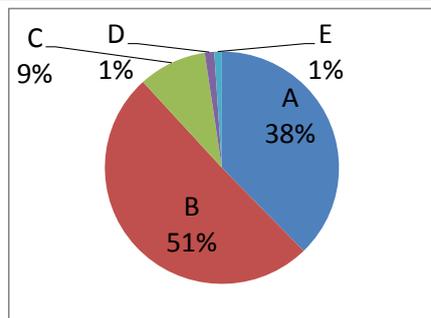
ほとんどの方がよい評価をしてくださいました。どの子も学校が楽しいと思えるように、「分かった」「できた」「もっとやりたい」「楽しい」と児童が思える授業を行ったり、友達と温かく関わり合える場を作ったりする等の努力を続けます。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等とも連携を図りながら、教育相談を充実させ、子供たちの心のケアに努めます。

設問8 お子さんは、学校の規律を守って学校生活を送っている。



93%の方が「よい・あてはまる」「だいたいよい・だいたいあてはまる」と考えていました。本校では、「開三小の学校のきまり(へんじ・あいさつ・あとしまつ)」があり、①登校②始業前③朝会・集会④休み時間⑤給食⑥掃除⑦整理整頓⑧下校⑨その他9項目のきまりがあります。校内の様子を見ると、残念ながらきまりを守れず、自分勝手な行動をする児童が複数いました。「学校のきまりを守ってこそ、楽しさがある」ということを児童に伝え続け、全員が気持ちよく過ごせるようにしていきます。

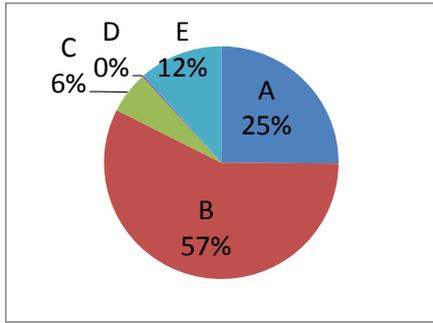
設問9 お子さんは、学習内容を理解している。



89%の方が、学習内容を理解していると評価してくださいました。しかし、10%の方は、理解していないと考えています。

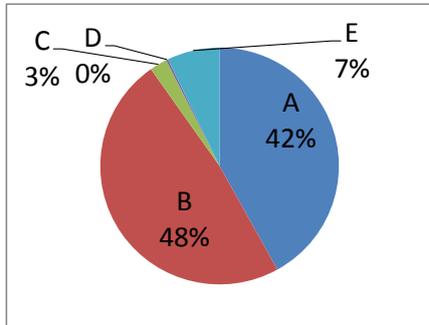
本校では、「開三授業スタンダード」というものを作成し、教室環境や授業準備、授業中の指導の仕方、授業後の評価等について全教員で共通理解を図りながら、指導を進めています。誰もが「分かった」「できた」が味わえるよう、板書、教材の提示の仕方、ペアやグループ学習の活用などの工夫を重ね、興味・関心がもてる授業を展開し、分かりやすい授業を心がけ、一人一人に力を付けていきます。また、放課後算数教室やとりもどしの時間を活用して、個別指導を行い、基礎学力の定着を図ります。

設問10 本校は、言語環境を整え、自分の考えや思いを自信をもって表現し、人の意見を最後まで聴く児童を育成している。



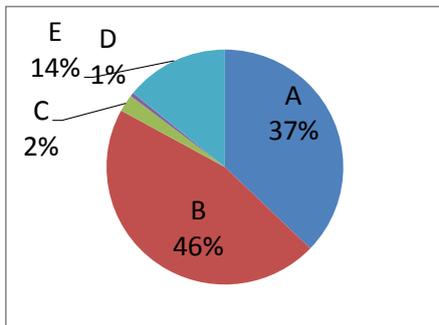
昨年度とほぼ同じ評価でした。自分の思いや考えを表現することに苦手意識がある児童が多いということを課題として、今年度は、国語科を通して「自分の考えを豊かに伝え、認め合う子供の育成」を目指し、書くことを中心に研究をすすめてきました。授業改善の他、朝のスピーチやわくわく作文等に取り組むことで、自分の考えを伝え合う力が少しずつ付いてきています。また、人の意見を最後まで聴く姿勢が身に付いていない児童も見られます。今後とも、「伝え合う」「聴き合う」ことの大切さを児童に伝えながら指導を続けます。

設問11 教師は授業を工夫し、わかりやすい授業をしている。



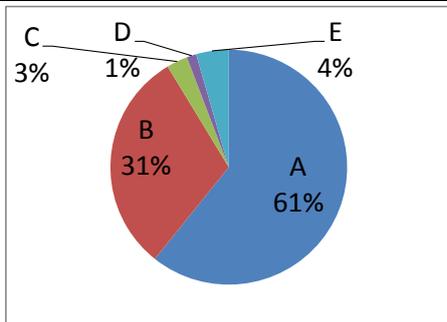
90%の方がよい評価をしてくださいました。今後とも、どの児童にとっても分かりやすく学ぶ意欲が高まるような指導の工夫を行いながら、授業改善を図り、児童一人一人の力を伸ばしていきます。

設問12 本校は、道徳の時間を要として道徳性を高めるための努力をしている。



83%の方がよい評価をくださいました。しかし、14%の方は、「わからない」と回答しています。本校では、昨年度まで道徳の研究に取り組んできました。今後も研究の成果を生かしながら、道徳教育のさらなる充実を図っていきます。また、第二土曜日の授業公開には、全学級が道徳の授業を行うとともに、全教育活動において児童の道徳性を高めていきます。

設問13 本校で取り組んでいる吹奏楽団、合唱団、鼓笛行進は、特色ある教育活動として教育効果を高めている。

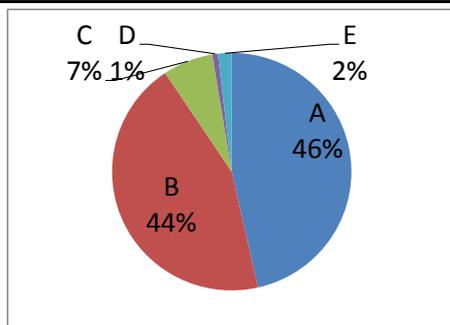


92%の方により評価をいただきました。本校の特色ある教育活動の「豊かな心の育成」の取組の一つとして、「音楽を通じた情操豊かな心の育成」があります。第1学年から音楽専科による指導を行い、音楽会も毎年実施しています。また課外活動として、合唱団は3年生以上、吹奏楽団は4年生以上の児童が活動し、校内の音楽会だけでなく、地域や区、都の音楽祭にも出演しています。

6年生になると鼓笛行進に取り組めます。40年以上続いている活動で、運動会や6年生を送る会で演奏します。

今後も音楽的な活動を通して、情操豊かな児童を育成していきます。

設問14 学校は、学校通信、保護者会、個人面談、連絡帳、学校ホームページなどを通して、学校の様子を分かりやすく伝えている。

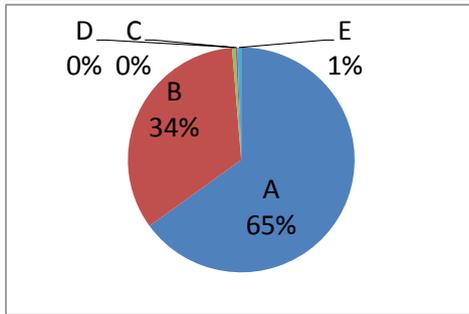


90%の方がよい評価をくださいましたが、10%の方が「あまりよくない」や「わからない」との評価でした。

保護者の方々に、本校の活動や取り組みを分かりやすくお伝えできるよう学校通信、学年だより等の内容の充実を図ります。

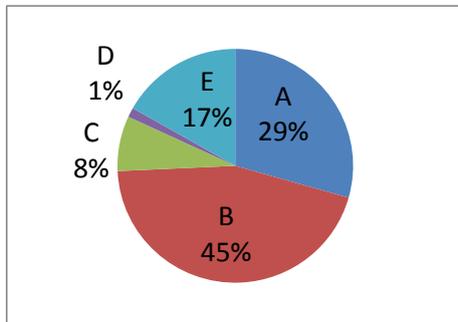
特にホームページについては、内容・更新回数等多数のご意見が寄せられています。いただいたご意見を参考にしながら、内容を充実させ、様々な情報をお伝えできるよう努力してまいります。

設問15 学校は、学校公開、運動会、音楽会、総合的な学習の時間の発表などを通して、児童の成長の様子や学習成果を伝えている。



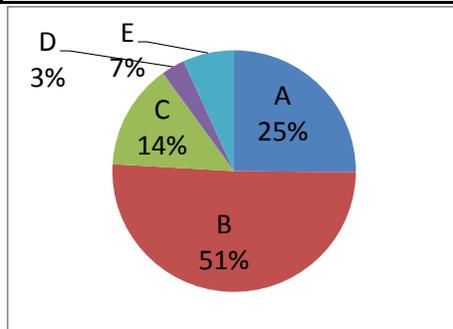
ほとんどの方がよい評価をくださいました。今年度は、新たに展示会を開催し、児童の個性あふれる作品をご覧いただくことができました。学校行事は、今までの学習の成果を発表する機会と児童の個性や能力を十分に理解し、新たに伸ばした力を発揮する機会でもあります。児童は、行事等を通して、めあてを達成するために努力することや友達と協力して一つのものを作り上げるものの大切さを感じ、大きく成長します。今後とも、内容の充実を図りながら、児童の成長した様子や学習成果を発表できるよう努めてまいります。

設問16 学校のパソコン、図書は、児童の学習活動に有効活用されている。



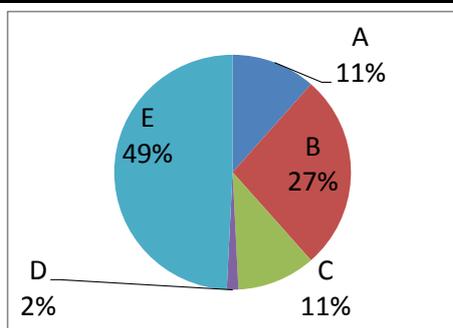
74%の方がよい評価をくださいましたが、分からないも含め26%の方が有効活用されていないとお考えのようです。今年度も練馬区立図書館による学校支援モデル事業として、図書支援員が配属され、図書の時間の読み聞かせや図書室の整備をしています。また、連携している小竹図書館から、団体貸し出しを利用して、総合的な学習の時間での調べ学習を行っています。学習活動がさらに充実するよう、本の種類等の検討を図り、使いやすい図書室にしていきます。パソコンを利用した学習については、発達段階に応じた内容を考えながら、全学年で活用できるよう努力してまいります。

設問17 学校の教室や廊下、特別教室、校庭などは、環境整備が行き届いている。



よい評価が76%と他の項目に比べ、低い数値でした。掃除の時間に一生懸命掃除をする児童がほとんどですが、中にはいい加減な掃除の仕方をしてしまう児童もいます。自分たちが使ったものや生活している場所をきれいにするのは当たり前のこと、また掃除をすると気持ちがいいという経験をさせ、整った環境の中で過ごせるようにしていきます。また、職員一同も児童が落ち着いて学習できる環境を整える努力を続けてまいります。

設問18 小・中学校間の円滑な接続を図るため、小中一環教育を推進し、有効な取組が行われている。



分からないと回答の方が半数近くいました。今年度は、次のような取り組みを行いました。①開進第三中学校からあいさつマンがきて、全校朝会であいさつの大切さについて呼びかける。②開進第三中学校の先生方が6年生で授業を行う。(出前授業)③中学生が低学年に向けて、図書の読み聞かせを行う。④互いの授業を見せ合い、指導法の工夫等についての意見交換をする。これらのことを行うことで、児童は中学校に対する不安が減り、期待がもてるようになったようです。来年度も、小学校と中学校で円滑な接続ができるよう、開進第三中学校・開進第二小学校と連携を深め、小中一貫教育を推進していきます。

今回の結果やいただいたご意見を真摯に受け止めながら、皆様からさらに信頼される学校をめざし、全教職員で改善に努めて参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。